

平成 2 1 年 3 月能代市議会定例会

市 長 説 明 要 旨

平成21年3月能代市議会定例会の開会にあたり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要をご報告いたします。

はじめに、市庁舎等の耐震診断結果についてであります。第一庁舎については、1階部分で耐震性能が不足している部分がありますが、建物形状等を勘案すれば一般の建物としては緊急の補強の必要はないとの報告がありました。しかし、第一庁舎が災害時の拠点機能を維持するためには、さらに耐震強度を高める必要があり、工事手法等も検討しながら、対応したいと考えております。

旧湊城第二小学校施設については、体育館の耐震性能が著しく低いことから、2月7日から使用を中止しており、今後、解体を含め対策を検討したいと考えております。

また、能代教育事務所のある旧管理・教室棟については、必要な耐震性能が確保されておらず、団体事務室や研修交流室等のある旧教室棟については、1階部分で耐震性能が不足している部分がありますが、緊急な補強は必要ないとの判定であります。

このため、今後の暫定活用にあたっては、能代教育事務所の旧教室棟への移動と、これに伴う教育相談室、研修交流室等の配置換え等を行いたいと考えております。

庁舎整備につきましては、これらの耐震診断の結果を踏まえて、平成21年度においては、既存庁舎等の活用方法や新たに建設する建物等の規模や配置、そのための概算事業費等の基礎調査を行い、22年度には、整備手法の方向付けを行いたいと考えております。

旧料亭金勇の寄附申入れに対する対応についてであります。この建物は天然秋田杉をふんだんに使った木都能代を象徴する貴重な歴史的建造物であり、平成10年には国登録有形文化財として登録されております。

市としては、市民共通の財産として、ぜひとも後世に引き継いでいくべきものと考えており、今年度中には、申入れのあった土地と建物の寄附を受けたいと考えております。

建物については、必要な補強や改修を行い、用途としては本館の登録有形文化財としての形態をできるだけ保持することを前提に、建物本体の展示、見学を中心として、館内には木都の歴史コーナーや観光コーナーを設けるほか、行事等への広間等の貸出しも考えております。

この建物を市民と協働で保存する仕組みづくりを行うとともに、市民や団体等の様々な分野での利活用を促進し、中心市街地活性化を含めた地域振興にもつなげてまいりたいと考えております。21年度は試験的活用を行い、具体的な運営手法等を検討し、利活用計画を作成いたします。

この計画に沿って、建物の補修や補強も含め必要な建物改修等の工事を行い、23年度には供用を開始したいと考えております。

「広報のしろ」の発行についてであります。広報発行業務の見直しについては、行財政改革大綱の実施項目に盛り込まれ、これまで庁内の広報検討会等で調査・研究を重ねてまいりました。その結果、平成21年度から発行日等を変更したいと考えております。

「発行日」につきましては、現行は1月を除き毎月第2・第4木曜日の2回発行であります。その月により、次の発行まで3週間の空きが生ずることもあり、「日付発行」に改め、毎月10日・25日の発行にしたいと考えております。

また、紙面内容・ページ数につきましては、現行は16ページ平均での発行であります。21年度から、10日発行号は「通常版」として政策記事や特集記事に重点を置いた18ページ程度の編集とし、25日発行号については「お知らせ版」として、各種行事やイベントのほか、市民生活に密着した情報記事を中心とした8ページ程度の編集にしたいと考えております。

(仮称)檜山地域拠点施設整備事業についてであります。今年度で用地測量が終了しましたので、檜山地域まちづくり協議会の皆様と、引き続き機能・規模等について協議しながら、平成21年度においては、ふるさと創生基金を活用し、基本設計、地質調査を経て、実施設計、外構設計を実施したいと考えております。

能代いなか体験推進協議会についてであります。昨年12月24日に、本市において農家民泊による教育旅行等の受入れを進めるため、農業協同組合、観光協会、市内農業法人、ガイドの会、旅行会社、市等21団体が参加し、設立されました。

平成21年度は、引き続き民泊受入農家の募集を進め、本市の豊かな自然や地域の特色を活かした体験プログラムを整備し、教育旅行等の受入れに取り組んでまいります。

次に、「能代市地域防災計画」及び「能代市水防計画」の策定についてであります。両計画は平成19年9月豪雨災害の教訓を反映させるとともに、地域座談会における被災者、避難者等の生の声を大切にしながら策定したものであります。

昨年11月に開催した第1回目の防災会議において計画素案を審議し、その後、ホームページに掲載するなど、幅広く市民の皆様からご意見をお伺いしました。併せて県と協議を行い、1月に開催した第2回目の防災会議で両計画案について審議し、成

案として、2月下旬に計画を公表いたしました。

また、豪雨災害の反省点を踏まえ「避難指示・勧告、災害時職員動員及び避難所運営」の各マニュアルにつきましても作成し、防災会議へ報告しております。

なお、21年度には「洪水ハザードマップ」を作成し、全戸配布する予定としております。

市民歌の制定についてであります。東京在住の作曲家青島広志さんと昨年7月1日に作曲委託契約を締結し、12月に楽譜とCDが納入されております。

市では市民歌制定検討委員会を開催し、委員の方々から、本市の市民歌としてふさわしい旨のご意見をいただき、1月1日に市民歌を制定いたしました。今月21日の市制施行記念能代市表彰式において、正式にお披露目をするとしております。また、6月28日には作曲家、作詞者をお招きし、市内のコーラスグループや小学校の合唱部にご出演をいただき、合唱発表会を開催したいと考えております。

現在、市役所の電話の保留音や市のホームページからのダウンロード等でお聴きいただいておりますが、市民の皆様にも愛着をもってもらえるよう、今後も市民歌の普及に努めてまいります。

二ツ井地域における時報についてであります。これまではそれぞれの地区ごとに消防用サイレンで対応をしておりますが、4月1からはこれに替えて、防災行政無線による放送とすることにいたしました。

朝、昼、夕の1日3回、さわやかな音色のメロディチャイムによる放送とし、市民歌等も放送曲目の中に組み入れていきたいと考えております。

次に、第三保育所の民間移管についてであります。入所児童や保護者の不安を解消し、スムーズな移管を図るため、昨年10月から行ってまいりました引継保育を、今月で終了いたします。4月からは、社会福祉法人杉松会が「さんさん保育園」として運営することになりますが、今後も引き続き、移管先との連携を密にし、児童や保護者が安心できる保育サービスに努めてまいります。

高齢者福祉計画・第4期介護保険事業計画についてであります。「地域で支えあい、高齢者が住み慣れたわがまち能代で、いつまでもいきいきと安心して暮らせるまちづくり」を基本理念とする、平成21年度から23年度までの計画案がまとまりました。計画案の策定にあたっては、能代市活力ある高齢化推進委員会のご意見を伺ったほか、住民アンケートやパブリックコメントの実施等、できるかぎり市民の皆様

ご意見を伺いながら作業を進めてきたところであります。介護保険料につきましては、高齢者の増加や介護報酬の引上げなどによる介護給付費の増加分を介護給付費準備基金の取崩しや介護従事者処遇改善臨時特例交付金の活用などにより賄うことで、基準額を現行の月額4,200円に据え置くこととしております。

国民健康保険事業についてであります。平成21年度は合併協議に基づく不均一課税の統一を行うほか、当初予算は現行税率では財源不足が見込まれるため、国保事業を運営できるよう試算した税率で編成しております。

今後、加入者の所得や医療費の動向、20年度の決算状況を踏まえ、国民健康保険税率の改定を6月定例会へ提案したいと考えております。

母子保健事業についてであります。本市の妊婦一般健診は、これまで母体や胎児の健康管理及び経済的負担の軽減を図るため、国から示されている一般健診の基準5回を上回る7回分を県の補助事業も含めて助成しております。

国では平成20年度補正予算において、安心・安全に出産できるよう22年度までの間、望ましいとされる妊婦健診14回すべてに助成することとしております。市では今後、関係医療機関や該当者へ周知を図り、21年4月から実施してまいります。

次に、バイオマスタウン構想の推進についてであります。今年度は家庭系廃食用油や森林資源の利活用について事業化に向けた取組を進めております。廃食用油につきましては、これまで二ツ井地域で回収しておりましたが、能代市全域に範囲を拡大しております。森林資源につきましては、林地残材等の活用について調査・研究を行い、木材高度加工研究所等の研究機関と連携して取組を進めております。

また、2月には白神微生物利活用研究会を立ち上げ、白神微生物を用いたネギや山ウド等の加工品や食物残渣の良質な堆肥化に向けた取組を開始しております。これにより地域のバイオマスを活用しつつ、同時に白神山地のネームバリューを活かした新たな商品開発と事業化につなげていきたいと考えております。

二ツ井地域し尿処理料金の改定についてであります。平成20年7月、北秋田市、藤里町、上小阿仁村、能代市二ツ井地域のし尿処理を行っている北秋田市周辺衛生施設組合に対し、し尿収集運搬業者3社から、し尿汲み取り料金の改正に関する陳情書が提出されておりました。組合では、現在の料金1リットル当たり税込み6円を、21年4月1日からは180リットルまでを基本料金税込み1,260円とし、これを超えた分については1リットル当たり7円とする、し尿汲み取り料金検討委員会の結

果を業者に通知したところ、了承され改定されるものです。

今後、利用者への周知につきましては、収集運搬業者が個別に対応することになりますが市も広報で周知いたします。

次に、株式会社能代港リサイクルセンターについてであります。1月30日に関係事業者5社及び本市の出資により設立され、4月以降には出資者の追加等による増資を行う予定となっております。

この法人が事業主体となる循環資源の保管施設の設置については、国土交通省の補助制度を活用することとしており、補助金交付の決定後、工事に着手し、平成21年度内の完成を目指しております。本事業は、秋田県北地域の活性化のため、地域一体となって取り組むこととしており、本市としても引き続き支援をしてまいりたいと考えております。

中心市街地活性化についてであります。これまで進められてきた中心市街地活性化推進協議会の協議の中から30に上る事業が提案され、事業実施の手法、担い手等について具体的な検討が重ねられております。現在、市ではそれらの提案事業に、市の事業を加えて、今年度末を目途に、活性化計画としての取りまとめの作業を行っております。来年度からの事業実施に向けて、既に「街歩き」や「本のリユース」等の試行的な取組や「まちづくり会社」等、市民による自発的な事業実施主体の立ち上げの動きが起きており、市といたしましても積極的に連携、協働して、中心市街地の活性化を目指してまいります。

「道の駅ふたつ」のリフレッシュトイレの故障についてであります。去る2月16日に、トイレ浄化槽の原水ポンプ槽の蓋が持ち上がっているとの通報があり、調査したところ、原水ポンプ槽の破損を確認したため、2月20日の午後からトイレの使用を禁止しました。

緊急措置として、日中の来訪者は二ツ井総合観光センターのトイレを利用させていただくこととし、「道の駅」の入口付近及びリフレッシュトイレに案内看板を掲示いたしました。また、道路利用者への周知について、近隣の「道の駅」へ協力依頼するなどの対応をしております。

早急に対応策を検討してまいりますが、長期化することも想定されますので、できるだけお客様にご不便をおかけしないよう努めてまいります。

なお、対応策がまとめ次第、補正予算を追加提案したいと考えております。

一昨年9月の豪雨災害により甚大な被害を受けた天神荘についてであります。昨

年9月末日をもって解体工事を終えましたので、文化庁へ登録有形文化財の現状変更報告をし、国の文化審議会を経て、平成20年12月8日付けで登録抹消となりました。

解体部材につきましては、天神荘の2階和室の一部を復元した模型を製作し、この4月には二ツ井町歴史資料館で市民の皆様にご公開する予定であります。なお、復元模型使用以外の部材については、公売の手続きを進め、先頃行われた入札により売却先が決定しております。

次に、市営住吉町住宅建替事業についてであります。民間事業者の参入に向け2月13日に本事業に対する基本的な考え方、内容及び募集方針等について実施方針を公表し、19日には説明会を開催いたしました。現在は、実施方針に対する意見・質問の受付を行っており、4月下旬には募集要項等を公表することとしております。平成21年度は、本定例会で債務負担行為の設定をお願いし、審査委員会を経て、12月下旬には優先交渉権者の決定、22年3月には事業者と契約を締結する予定としております。

耐震改修促進事業についてであります。今年度中に地震による住宅や学校等特定建築物の被害の防止及び軽減を目的とした、能代市耐震改修促進計画を策定することとしております。平成21年度からは、耐震化率が著しく低い木造戸建住宅への耐震診断及び耐震改修に対する助成を行ってまいりたいと考えております。

住生活基本計画等策定事業についてであります。平成21年度に新市における今後の総合的な住宅施策に関し、基本方針となる住生活基本計画を策定することとしております。併せて、既設公営住宅についても需要予測に応じた建替や改善など、事業手法等を定める公営住宅ストック総合活用計画の策定も行うこととしており、今後の住宅施策や既設市営住宅の建替・維持管理等に役立ててまいりたいと考えております。

能代河畔公園整備事業についてであります。去る2月20日、能代市公共事業再評価審議委員会が開催され、事業を継続すべきとのご意見をいただいております。今後も、事業認可期間である平成24年度までの完成を目指してまいります。

二ツ井・荷上場地区の水道整備についてであります。本事業は、二ツ井地域の重点課題としてとらえており、加入回答率の高い地区や水質で苦慮している二ツ井・荷上場地区のおおむね7割に絞り込み、事業費、財源、水道料金等の検討を進めてまい

りました。

平成20年7月から8月にかけて実施した加入確認の加入回答率は、人口比で70%ですが、住民の健康と生活を守るために優先して整備する必要があることから、21年度には簡易水道事業として着手したいと考えております。

今議会中に建設委員会に説明し、21年度の早い時期に補正予算を計上したいと考えております。

能代産業廃棄物処理センターに係る処理水の区域外流入についてであります。公共下水道への受入れなど平成21年度の取扱いについて秋田県と協議を重ねてまいりましたが、21年度も引き続き公共下水道への区域外流入と下水道使用料の免除について、20年11月27日付けで文書が提出されております。

市といたしましては、21年度につきましても、地域の環境保全と市民の不安解消のため、受入水量、受入水質基準等の条件を付した上で、引き続き1年間、公共下水道に受け入れるとともに、公益上の観点から下水道使用料を免除したいと考えております。

また、20年度の産廃処理水に係る関連経費について、引き続き国に対し特別交付税を要望いたしております。

次に、小学校建設事業についてであります。第四小学校及び二ツ井小学校とも平成22年3月の完成に向け、校舎の基礎工事と体育館の主要構造部分のおおよそを今年度内に終了する予定で進めております。

また、21年度は両校に隣接して共同調理場の建設に着手したいと考えております。

能代商業高等学校と能代北高等学校の統合についてであります。秋田県教育委員会では、昨年10月、第五次秋田県高等学校総合整備計画後期計画に基づく、能代地区統合校基本構想を取りまとめております。この中で、教育目標や教育方針等を定め、統合校開校の目標を平成25年4月といたしております。施設整備については、校舎等の建設場所を能代商業高校の敷地とし、21年度は地質調査や基本設計等を行い、その後実施設計を経て23、24年度の2か年で新校舎等を整備する予定と伺っております。なお、財産等の取扱いにつきましても引き続き協議することとしております。

陸上競技場の改修についてであります。現在関係団体と競技施設等の配置などを決定する最終的な意見調整を行っており、これらを取りまとめ次第、平成21年度には実施設計を行うこととしております。

学校給食についてであります。食の安全や地産地消、食育の推進等が求められている中で、平成21年度中に（仮称）学校給食の在り方検討委員会を設置し、基本的な考え方等を取りまとめることとしております。

また、共同調理場の再編を控え、効率的な運営等に資するため公募によるプロポーザル方式により受託者を選定し、民間委託を進めたいと考えております。

次に、単行議案の主なものをご説明いたします。

能代市特別会計条例の一部改正は、当面の換地清算事務の終了により、能代市土地区画整理事業換地清算特別会計を廃止しようとするものであります。

能代市ふるさと創生基金条例の一部改正は、ふるさとの歴史・文化の環境づくりにふさわしい事業の推進のため、基金を処分し、活用しようとするものであります。

能代市介護保険条例の一部改正は、平成21年度から23年度までの介護保険料の額等を定めようとするものであります。

能代市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定は、介護従事者の処遇改善を図るための21年度の介護報酬改定に伴う、介護保険料の急激な上昇を抑制するため、基金を設置しようとするものであります。

能代市学校給食センター設置条例の一部改正は、学校給食センターの位置を改めようとするものであります。

能代市商工業振興促進条例の一部改正は、工場等の新設等をするものに対する奨励措置について、適用期間を延長し、奨励内容を拡大しようとするものであります。

能代市道路占用料徴収条例の一部改正は、道路法施行令の一部改正に伴い、道路占用料の額の改定等をしようとするものであります。

能代都市計画事業東能代駅前地区土地区画整理事業施行規程を定める条例の廃止は、東能代駅前地区土地区画整理事業の終了に伴い、廃止しようとするものであります。

このほか、秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更、能代市立二ツ井中学校耐震補強等工事の請負契約、能代市簡易水道事業特別会計等4会計への繰入れの議案を提出しております。

平成20年度能代市一般会計補正予算案の概要をご説明いたします。

まず、歳入であります。法人市民税の減、地方消費税交付金の減、国・県支出金

については、秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業費補助金の追加のほか、補助決定等による補正、財政調整基金繰入金の減、消防団員罹災給与基金繰入金の増、市債は、借換債の追加のほか、二ツ井小学校建設事業債、第四小学校建設事業債の増、及び事業の確定による整理等について補正しております。

次に、歳出であります。財政調整基金積立金 3,317万7千円、障害者自立支援給付費等事業費 4,549万1千円、生活保護費 3,975万9千円、プレミアム付き商品券発行事業費補助金 1,200万円、消防団員罹災給与基金積立金 1,119万2千円、二ツ井小学校建設事業費 7,959万8千円、第四小学校建設事業費 9,872万9千円、長期債元金 9,539万7千円の計上のほか、国民健康保険特別会計繰出金、後期高齢者医療健診事業費、県営ほ場整備事業費負担金（常盤本郷地区）、地方道路整備臨時交付金事業費（中川原橋架替事業）、市営住宅建替事業費、常盤中学校グラウンド整備事業費、長期債利子の減額整理等をいたしております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げますが、補正額は1億9,240万円となり、これを既定予算に加えますと、一般会計の総額は259億9,923万3千円となります。

次に、平成21年度能代市一般会計予算案についてご説明いたします。

本市の平成21年度の財政状況は、歳入では、実質的な地方交付税は増加していますが、景気の悪化等により、それ以上に市税、各交付金等が減少しており、歳出では、人件費、公債費は減少しているものの、社会保障関係経費は増加しています。さらに財政調整基金（一般分）の残高は、約2億円という、極めて厳しい状況にあります。

このため、経常的な経費の削減など、あらゆる経費の見直しに努め、また、平成20年度に国の地域活性化・生活対策臨時交付金等を活用して事業の前倒しをするなどし、限られた財源の有効活用を図り予算を編成いたしました。

総合計画は2年目を迎え、将来像として掲げる『“わ”のまち能代』の実現に向け、平成21年度当初予算は、次の各施策に重点的に取り組むほか、それぞれの関係予算を計上いたしました。

基本目標「輝きとぬくもりのまち」では、第四小学校建設事業、二ツ井小学校建設事業、南部共同調理場建設事業、二ツ井共同調理場建設事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業、全天候型陸上競技場整備事業等の教育環境の整備、青空デイサービス事業（介護保険特別会計）等の高齢者が元気に活躍できる環境づくり、（仮称）檜山地域拠点施設整備事業等の歴史文化等の地域資源の活用などを通じて、市民が地域で活躍できる環境の整備などに取り組むこととしております。このほか、法人保育所等運営費負担金、ファミリーサポートセンター・つどいの広場事業費、すくすく子

育て幼稚園保育料支援事業費、母子保健事業費、軽度生活援助事業費、障害者自立支援給付費等事業費を計上し、新たに若者魅力発見・発信事業費、家庭教育支援事業費、旧金勇管理費、平成23年度全国高等学校総合体育大会開催準備委員会補助金等を計上いたしております。

次に、「元気とうるおいのまち」では、港湾利活用地域振興基金事業、バイオマスタウン構想推進事業等の環境関連産業の立地促進、中小企業融資あっせん等事業、がんばる農業者総合支援対策事業費補助金、木のまちづくり推進事業等の地域産業の振興などを通じて、若者の定住に結びつく産業創出と雇用確保などに取り組むこととしております。このほか、企業開発費、“今こそチャレンジ”農業夢プラン応援事業費補助金、農地・水・環境保全向上活動支援事業費、常盤本郷地区・富根地区の県営ほ場整備事業費負担金、高能率生産団地路網整備事業費、松くい虫対策事業費、空き店舗流動化支援事業補助金を計上し、新たに烏野地区水道水源移設事業費、中小企業緊急雇用安定助成金、緊急雇用創出事業費、空き家・空き農地情報化事業費、鳥獣被害（農作物）防止対策事業費、グリーンツーリズム推進事業費等を計上いたしております。

さらに「安全と安心のまち」では、地域公共交通活性化事業、市営住宅建替事業、住生活基本計画等策定事業等の住環境の整備、中心市街地活性化推進事業等の中心市街地活性化計画の推進、耐震改修促進事業、洪水ハザードマップ作成事業、消防ポンプ車・小型動力ポンプ積載車購入事業、消防団員の確保と活動しやすい環境づくり事業等の防災などを通じて、市民の暮らしの向上と安心の確保などに取り組むこととしております。このほか、消防団員費、車庫兼休憩所新築事業費、地方バス路線等維持費補助金、中川原地区・向能代地区整備事業費、二ツ井地区の道路整備と中川原橋架替の地方道路整備臨時交付金事業費、都市計画マスタープラン策定事業費、浄化槽設置整備事業（個人設置型）補助金、檜山川運河改修事業費、下水道事業特別会計繰出金、能代河畔公園整備事業費、国民健康保険特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金、秋田県後期高齢者医療広域連合負担金、介護保険特別会計繰出金、生活保護費を計上し、新たに消防団統合に係る施設名称変更等事業費、能代地区の地方道路整備臨時交付金事業費、辺地共聴施設整備事業費補助金、庁舎整備基礎調査費等を計上いたしております。

次に歳入の主なものについて申し上げます。

市税は景気の悪化及び固定資産税の評価替等により前年度当初予算に比べ7.0%の減として計上いたしております。

普通交付税は前年度当初予算に比べ1.8%の増となっており、前年度決定額に比べては1.5%の増、臨時財政対策債は前年度決定額に比べ55.2%の増と、地方財政計画を参考に計上しております。

市債については、臨時財政対策債 9 億 9 0 0 万円を含め 4 3 億 6 , 3 9 0 万円を計上いたしております。

これにより、平成 2 1 年度の一般会計当初予算案の総額は、2 5 4 億 8 , 5 0 0 万円となり、前年度当初予算額 2 2 9 億 8 , 2 0 0 万円に対し、1 0 . 9 % の増となっております。

以上で、一般会計当初予算案の概要説明を終わります。

このほか、各単行議案、平成 2 0 年度の各特別会計補正予算案及び平成 2 1 年度各特別会計当初予算案については、提案の際詳細にご説明しますので省略させていただきます。

なお、能代市立第四小学校校舎建設工事（建築主体工事）及び能代市立第四小学校屋内体育館建設工事（建築主体工事）の各請負契約の変更に係る議案並びに教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員及び人権擁護委員の各人事案件については、後日追加提案する予定であります。

以上、よろしくご審議の上、適切な決定を賜りますようお願い申し上げます。